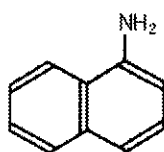


## 1-ナフチルアミン（試薬）

## 1-Naphtylamine

 $C_{10}H_9N$ 

FW: 143.19

1. 適用範囲 この規格は、試薬として用いる 1-ナフチルアミン<sup>(1)</sup>について規定する。

注<sup>(1)</sup> 別名： $\alpha$ -ナフチルアミン

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS K 0067 化学製品の減量及び残分試験方法

JIS K 0113 電位差・電流・電量・カールフィッシャー滴定方法通則

JIS K 0117 赤外分光分析方法通則

JIS K 8001 試薬試験方法通則

2. 共通事項 この規格に共通する事項は、JIS K 8001 による。

3. 種類 特級

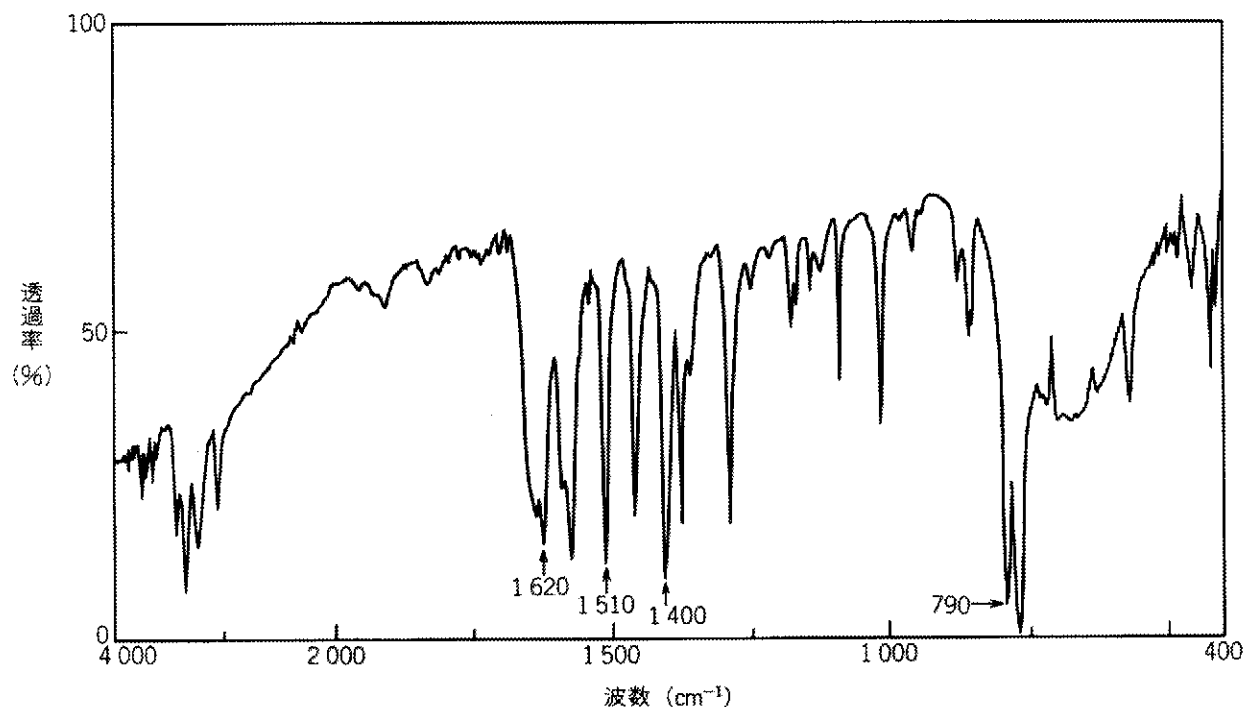
4. 性質 1-ナフチルアミンは、次の性質を示す。

- (1) 性状 1-ナフチルアミンは、白～うすい紅色の結晶性粉末で、空気中で徐々に着色し、紫紅色又は褐色となる。エタノール及びジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水に溶けにくい。

- (2) 定性方法 試料の赤外吸収スペクトルを JIS K 0117 によって測定すると、波数  $1\,620\text{cm}^{-1}$ 、 $1\,510\text{cm}^{-1}$ 、 $1\,400\text{cm}^{-1}$  及び  $790\text{cm}^{-1}$  付近に主な吸収を認める。

この場合、試料調製は JIS K 0117 の 6.2(1)（錠剤法）による。赤外吸収スペクトルの一例を図 1 に示す。

図1 赤外吸収スペクトルの一例



5. 品質 品質は、6.によって試験し、表1に適合しなければならない。

表1 品質

| 項目        | 規格値     |
|-----------|---------|
| 純度        | 99.0%以上 |
| 酢酸溶状      | 試験適合    |
| 融点        | 49～51℃  |
| 強熱残分（硫酸塩） | 0.1%以下  |

6. 試験方法 試験方法は、次のとおりとする。

(1) 純度 99.0%以上

試料 0.5g (0.1mg のけたまではかる) + 酢酸 (非水滴定用) 50ml → 0.1mol/l 過塩素酸 (酢酸溶媒) を用い JIS K 0113 の 5. (電位差滴定方法) によって電位差滴定を行う。

別に同一条件で空試験を行って滴定量を補正する。

0.1mol/l 過塩素酸 (酢酸溶媒) 1ml は、0.014 319g  $C_{10}H_9N$  に相当する。

(2) 酢酸溶状

試料 0.5g + 酢酸 (1+2) (→25ml) ……ほとんど澄明以内。

(3) 融点 49～51℃

JIS K 8001 の 5.4 (融点及び溶融範囲) による。

(4) 強熱残分（硫酸塩） 0.1%以下

JIS K 0067 の 4.4.4(4) (第4法 硫酸塩として強熱する方法) (4.1)による。

試料 1.0g 及び硫酸 0.5ml を用い、残分 1mg 以下。

7. **容器** 遮光した気密容器とする。
8. **表示** 容器には、次の事項を表示しなければならない。
- (1) 名称 “1-ナフチルアミン” 及び “試薬” の文字
  - (2) 種類
  - (3) 化学式、式量
  - (4) 品質（純度）
  - (5) 内容量
  - (6) 製造番号
  - (7) 製造年月又はその略号
  - (8) 製造業者名又はその略号

**参考 取扱い上の注意事項** 1-ナフチルアミンは有害なので、吸入及び粘膜・皮膚への付着を避ける。

## 原案作成委員会 構成表

|       | 氏名      | 所属                |
|-------|---------|-------------------|
| (委員長) | 久保田 正 明 | 物質工学工業技術研究所計測化学部  |
|       | 細 川 幹 夫 | 通商産業省基礎産業局生物化学産業課 |
|       | 津 田 博   | 通商産業省機械情報産業局計量行政室 |
|       | 地 崎 修   | 工業技術院標準部繊維化学規格課   |
|       | 喜多川 忍   | 通商産業検査所化学部化学標準課   |
|       | 野々村 誠   | 都立工業技術センター無機化学部   |
|       | 加 山 英 男 | 財団法人日本規格協会        |
|       | 石 橋 無味雄 | 厚生省国立衛生試験所        |
|       | 川 瀬 晃   | 社団法人日本分析化学会       |
|       | 柳 瀬 斉 彦 | 社団法人日本化学工業協会      |
|       | 藤 貫 正   | 社団法人日本分析化学会       |
|       | 並 木 昭   | 財団法人化学品検査協会       |
|       | 鶴 田 利 行 | 硫酸協会              |
|       | 中 村 靖   | 日本鋁業協会            |
|       | 大 槻 孝   | 社団法人日本鉄鋼協会        |
|       | 日 暮 喜八郎 | 第一化学薬品株式会社        |
|       | 北 田 佳 伸 | 和光純薬工業株式会社        |
|       | 高 野 虞美子 | 東京化成工業株式会社        |
|       | 中 村 穰   | 森田化学工業株式会社        |
|       | 山 岡 宏   | 片山化学工業株式会社        |
|       | 飯 岡 寛 一 | 柳島製薬株式会社          |
|       | 山 田 和 夫 | 関東化学株式会社          |
| (事務局) | 平 井 信 次 | 日本試薬連合会           |